

経営比較分析表（令和5年度決算）

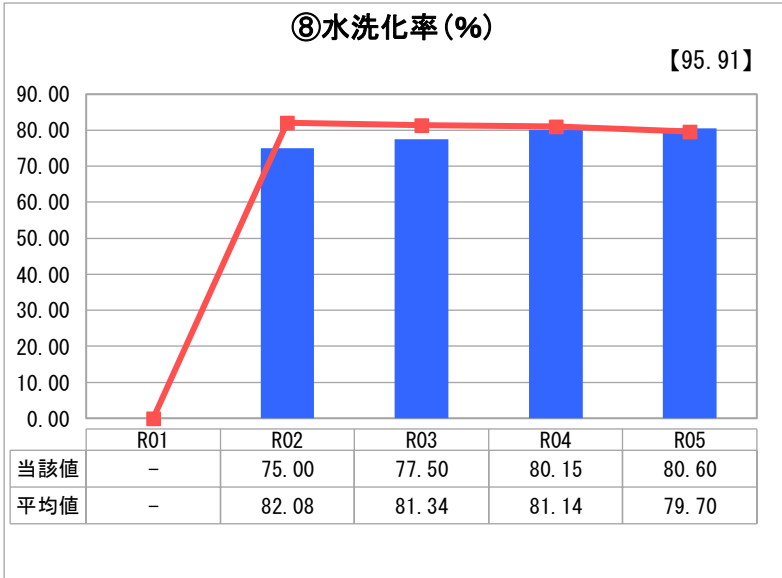
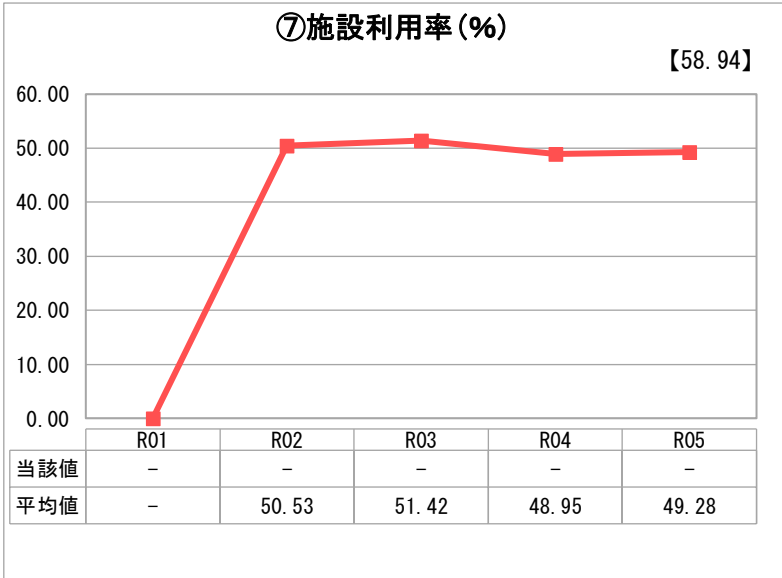
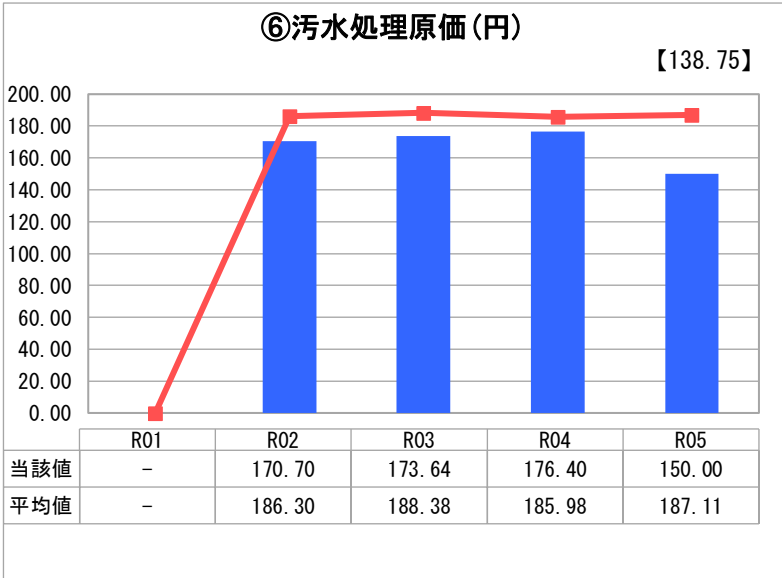
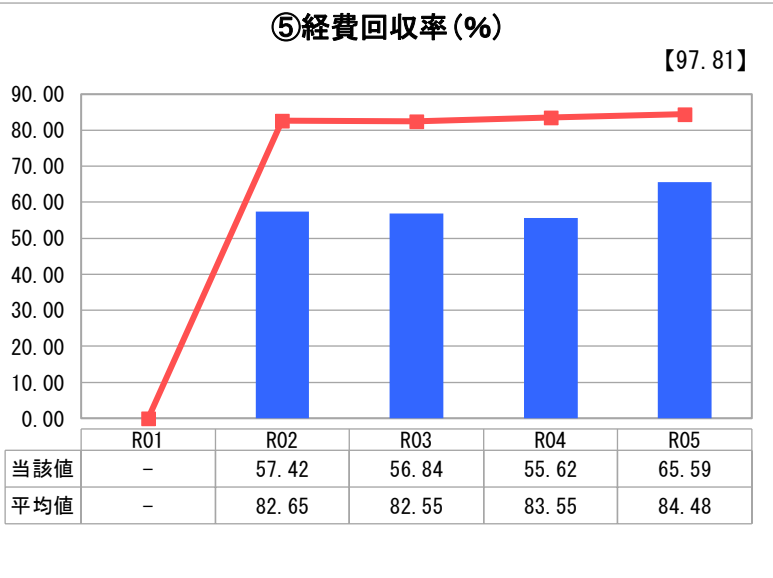
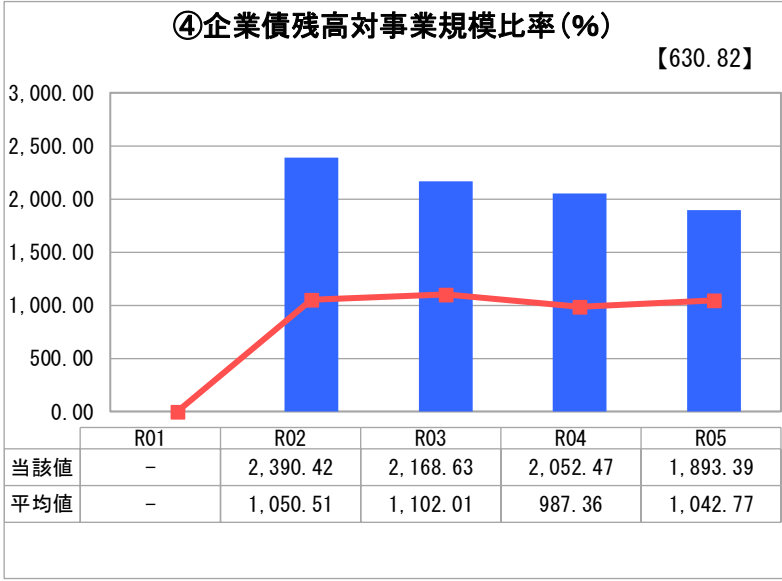
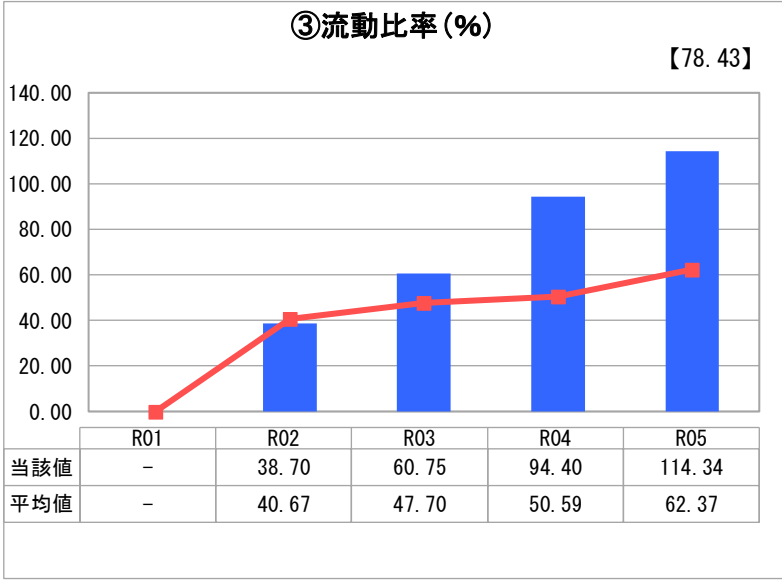
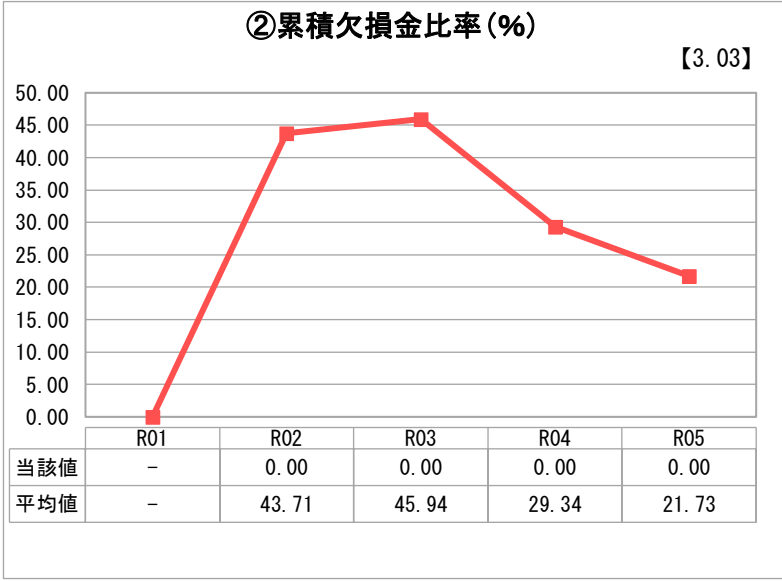
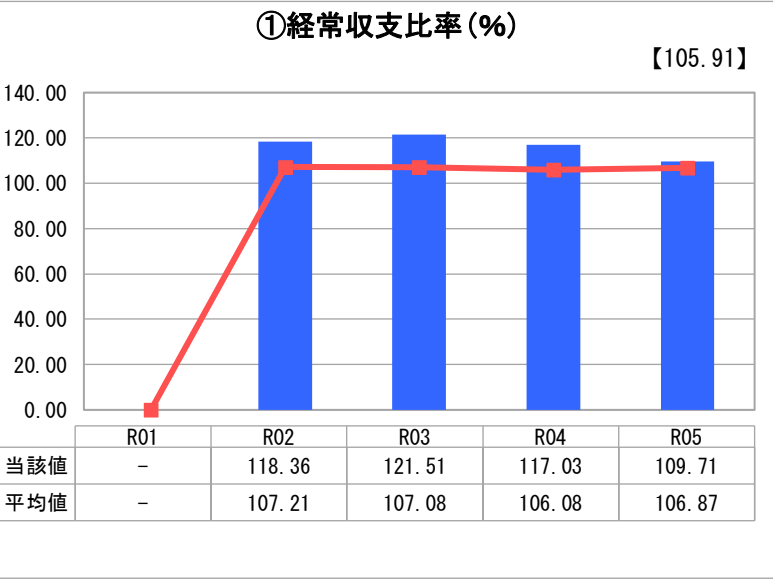
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.24	75.14	80.23	1,320

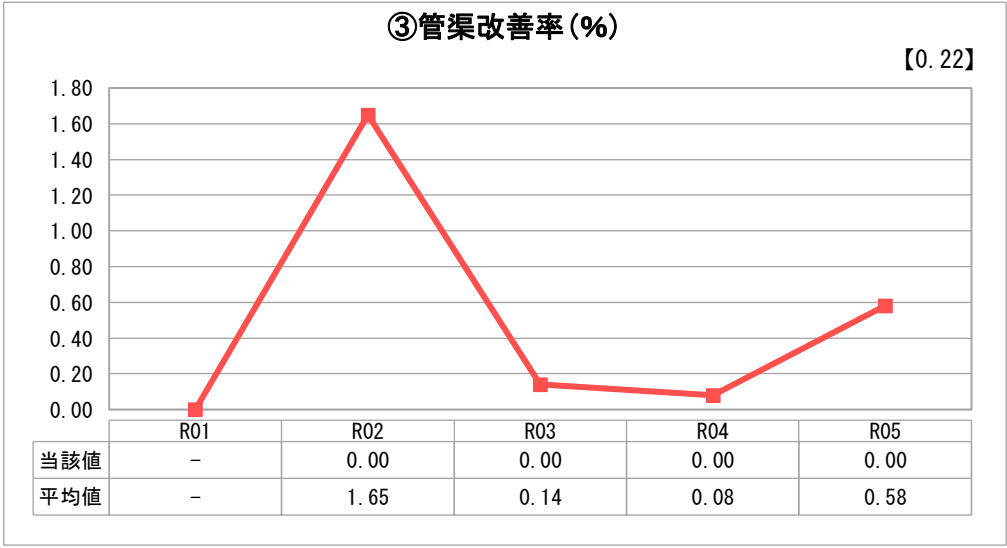
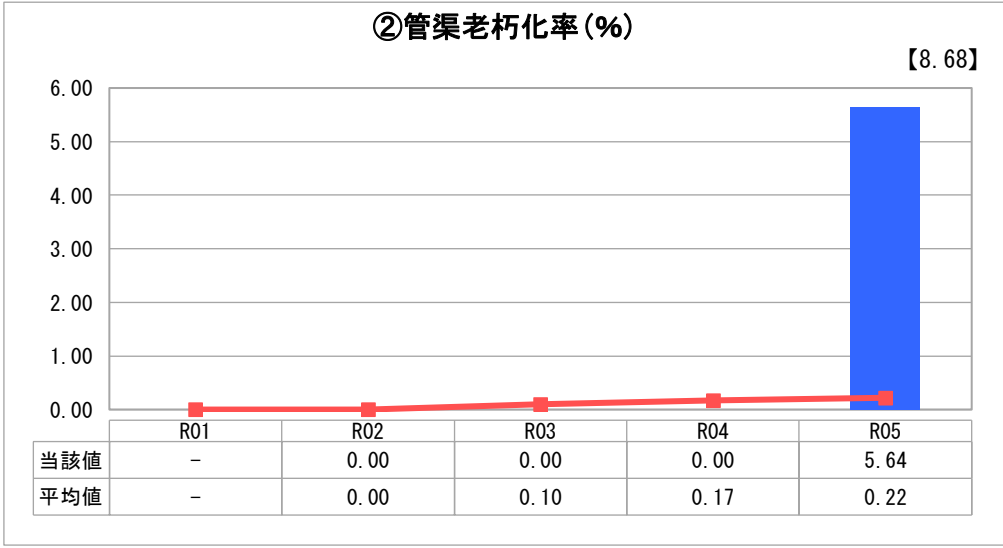
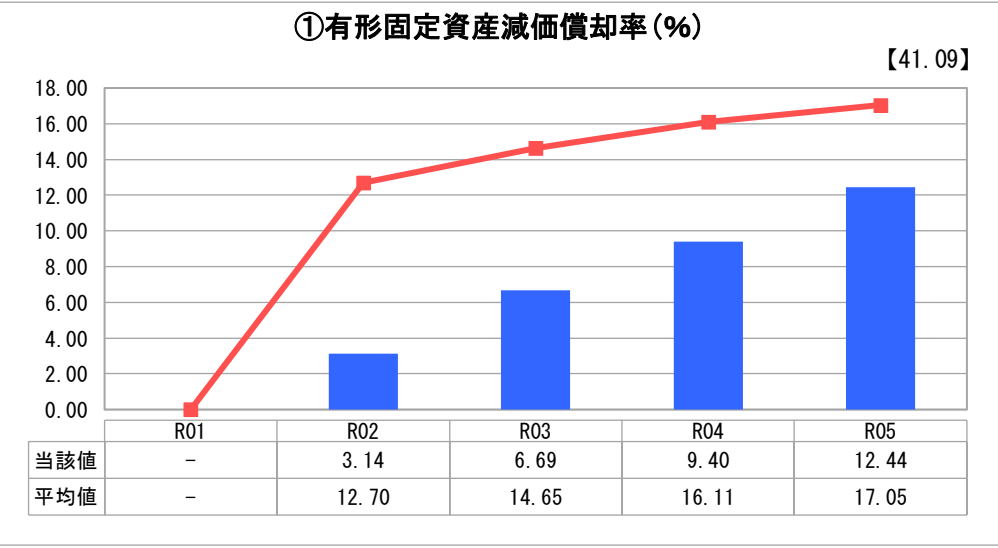
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,932	19.99	446.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,696	2.52	2,657.14

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は109.71%で100%を超えています
が、経費回収率は65.59%で類似団体平均値と比較し
ても低い値となっています。
水洗化率は接続人口の微増及び処理区域内人口が
減少したことにより80%を超え、類似団体平均値を
若干上回る数値となりました。
将来的には管渠の更新等あり維持管理費等の増加
が予想されるため、経費削減を進めるとともに、一
般会計からの繰入れを減らすため、適正な下水道使
用料となるよう使用料改定についても検討を行い、
経営の安全化を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

管渠については耐用年数に達していないものがほ
とんどですが、県企業庁から移管をうけたコミュニ
ティプラントの管渠が耐用年数を迎えたため、管渠
老朽化率は5.64%となりました。
有形固定資産減価償却率は12.44%で類似団体平
均値と比較しても低く老朽化の度合いは高くありま
せん。令和元年度から管路調査を実施しています
が、将来的な管渠の更新を計画的に進めていく必要
があります。

全体総括

現状では、耐用年数に達する管渠等は少なく、管
渠等の老朽化に伴う更新は行っていません。今後は
ストックマネジメント修繕・改築計画を基に改築修
繕を実施していく予定です。
将来の維持管理費等の増加を踏まえ、経営戦略の
見直しを行い、使用料改定についても下水道運営審
議会にて審議し、持続可能な下水道事業が運営でき
るよう努めます。
令和2年度から地方公営企業会計に移行しました
ので、引き続き経営状況と財政状況を明確化するこ
とに努めます。
職員数が不足しており専門的な事務や技術の継承
に課題があるため、適正な職員配置・適切な事務分
担についても検討していく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。